

## 平成29年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

## 1 事業内容

団体名	NPO 法人 和 ボーダレスアートサポートセンタークシロ
事業名	ボーダレスアートアクション 2017
課題テーマ	地域を担う人材の育成
事業提案の背景	障がい者アートの全国的な取組みと国を含めた支援の拡大
事業目的	障がい者・不登校者・ひきこもり・フリーターなどマイノリティな人たちを含めたすべての人の表現や情報発信の場、生きがいの創出など継続的に提供し、市民の理解を深め、ともに生きる地域社会を目指す。
事業概要	釧路駅舎横の地下通路を障がい者が中心となったアート作品で飾り新しい観光スポット化を計画。「ボーダレスアート（アンダーストリート）美術館（仮）」という新しい町の魅力づくりの発信源とする。（アンダーグラウンドアートミュージアム）
事業展開	釧路地域を中心にアーティストの作品（絵画・イラスト・写真など）を公募。 作品を壁材（カッティングシート）にし、地下道に施工、ミュージアム化する。 外国人観光客も意識した言語対応、マニアックな名所を目指す。記念イベント開催。アンダーグラウンドなストリートミュージックのコンサート、パフォーマンス、フリーマーケット、福祉事業所の商品や食べ物の販売、などのサブカルチャーイベントを開催（駅前あるいは連動できるスペースで開催） SNS で PR する。作品はその後も毎年継続で増やしていく。
成果目標の達成状況	アンダーグラウンドアートミュージアムを開設。全国から公募し、作品応募総数 400 点以上。アーティスト 103 名の応募となりました。また、11 月にオープンイベントを開催し、アートワークショップや出店、当日ギャラリートークを開催。延べ約 450 人の来場者となりました。その後も約 10 回問い合わせ等電話、メディア掲載（新聞 5 回テレビ放送 2 回、ラジオ 1 回、その他 1 回）と地域の協力もあり、釧路の観光資源の一つとして全国へ発信。 ホームページからの人気投票 43 名。
波及効果の達成状況	通勤、旅行等で地下道を通り、駅を利用することでアートが市民の身近になった。 アートを通じてマイノリティの存在が身近になった。 2020 年パラリンピックを一つの目標に、障がい者の文化活動へのムーブメントとして、ユニバーサルなまちづくりのきっかけ



小 計	1,023,341	
対象外経費		
使用料	3,500	イベントテント
小 計	3,500	
合 計	1,026,841	